

通信員(1/2)

1 仕事の内容

通信員は、艦船、潜水艦、陸上基地、航空基地などにおいて、部隊の耳となり口となる欠くことのできない、無線通信や情報システムの運用・保守を行っています。今やインターネットや携帯電話での通信は誰でも行っている時代ですが、いつでも、どこでも誰でもが安全確実に通信が行えるよう陰で支えたり、部隊指揮官の意思を無線通信でタイムリーに関係部隊に伝えたりすることにより部隊の任務達成に大きく貢献できる通信員はやりがいのある仕事です。無線通信は無線電話やモールスを使用して行います。適性のある人は、教育を受けることで、送受信できるようになります。通信は、自衛隊の中でも、最も早く女性に開放された職種の一つで、体力のハンディを感じることの少ない職場であり、勤務と子育てを両立させている隊員も少なくありません。なお、潜水艦でも勤務できます。

2 仕事に就くために

教育隊終了後約1年間、船務要員として艦船への乗り組みや、システム通信隊で勤務。その後、第1術科学校の海士通信課程(約5か月)を経て、艦船の船務科通信員として艦艇勤務になる人や、システム通信隊の運用科員として陸上勤務になる人がいます。適性のある人は海士通信課程に引き続き無線電信(モールス)課程に進み、その後無線従事者の国家資格取得課程へ進み、無線通信士の国家資格を得て部隊で活躍できます。



(ネットワーク構築の実習)



(パソコンによる通信)



(モールス送受信)

通信員(2/2)

3 主な勤務地

全国5か所の総監部等を母港とする艦艇部隊、総監部地区、基地隊（函館、神戸、沖縄）、航空基地（厚木、鹿屋、岩国、八戸、那覇、館山、舞鶴、大湊、小松島、下総、徳島、小月）、第1術科学校等の教育部隊などがあります。

4 取得可能な資格及び免許

(1) 付与される免許

無線通信士(防衛省内の資格) * 第1術科学校修業時に付与されます。

(2) 将来取得機会のある免許

無線通信士(国家資格) * 専門のコースがあります。

5 ライフスタイル(10年間の配置換え等)

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	
教育部隊(練習員等課程)	システム通信隊等 又は 護衛艦等(船務要員)	第1術科学校 (海士通信課程) 無線電信課程	システム通信隊等 又は 護衛艦等(船務科通信員)	システム通信隊等 又は 護衛艦等(船務科通信員)	教育部隊(初任海曹課程)	システム通信隊等 又は 護衛艦等(船務科通信員)	システム通信隊等 又は 護衛艦等(船務科通信員)	システム通信隊等 又は 護衛艦等(船務科通信員)	システム通信隊等 又は 護衛艦等(船務科通信員)	システム通信隊等 又は 護衛艦等(船務科通信員)

6 先輩からの一言



通信員は勤務地も豊富にあり海外派遣・災害派遣でも活躍しています。

ホットな情報収集に携わり、とてもやりがいのある仕事です。

私は結婚・出産を経て子育て中ですが、充実し楽しく勤務しています。